

島民の皆様・来島される皆様へ  
医療体制の危機について

新型コロナウイルス感染症は、7月下旬以降、種子島3市町で感染者数が計10人を数えました。島内医療機関の感染者用病床は満床状態となり、新たな感染者は島外に搬送せざるを得ない状況です。種子島の医療体制は、今まさに、崩壊の危機に直面しています。

政府は、緊急事態措置区域を拡大し、実施期間を8月末まで延長しました。全国知事会は、都道府県境を越える旅行や帰省の原則中止を呼びかけています。

夏休みに入り、帰省等を楽しみにされておられると思いますが、事情を御理解いただき検討をお願いします。やむを得ず移動する場合や来島される場合は、万全の配慮をお願いします。例えば、東京、大阪の空港でのPCR検査費用を助成する鹿児島県の制度もありますので、こちらもご利用ください。

また、会食をする際は、感染防止対策を実施している店舗で、少人数・短時間、黙食・静食など、感染リスクの低減を心がけてください。

島内でのワクチン接種は、医療従事者の皆様のご協力をいただき、今後も確実に進めてまいります。一日も早く平穏な日常が取り戻せますよう、皆様の御協力をお願いします。

令和3年8月3日

西之表市長 八板 俊輔  
中種子町長 田淵川 寿広  
南種子町長 小園 裕康

※東京、大阪の空港でのPCR検査費用の助成制度（鹿児島県 HP）

<http://www.pref.kagoshima.jp/ae06/kuukoupcr.html>

参考) 感染者数 7/26～8/3

西5 中3 南2